

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年5月18日（火）

2 確認箇所

- ・ J 2、J 3 雨水回収タンク
- ・ 雨水散水地点（大熊町側）

3 確認項目

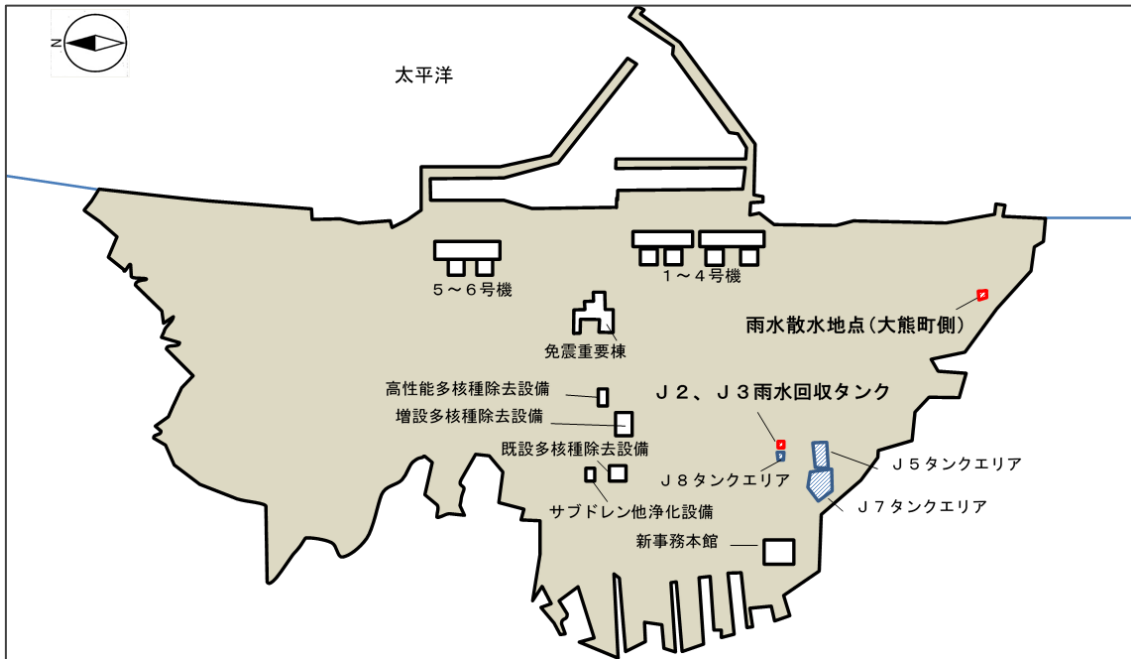
J 3 雨水回収タンクの水位低下事象

4 確認結果の概要

令和3年5月17日に東京電力社員が各タンクエリアの堰内に溜まった雨水を回収するためのタンク水位を確認したところ、J 3 雨水回収タンクの水位が低下していることを確認した。当該タンクについては、J 5、J 7、J 8 タンクエリアの堰内雨水を受け入れており、前回（5月12日）の散水以降、当該タンクの配管の弁操作は実施されていなかった。なお、配管が連結されている J 2 雨水回収タンクの水については5月14日に散水基準を満足していることを確認した上で構内に散水されている。

これらのことから、J 2、J 3 雨水回収タンクの状況並びに構内の雨水散水地点（大熊町側）の状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・ J 2、J 3 雨水回収タンクの払出弁は「全閉」となっていた。なお、J 2 雨水回収タンクの払出弁については、誤操作防止用のチェーンロックが取り付けられていた。（写真2）
- ・ 雨水散水地点については、一部で水溜まりが見られたが、敷き詰められた砕石の表面は大部分が乾燥していた。（写真3）
- ・ なお、空間放射線量率及び地表面の線量率を測定した結果、周辺の値とほぼ同様であった。
- ・ 東京電力によると、J 3 雨水回収タンクの水を分析した結果、散水基準を満足していることを5月18日に確認するとともに、J 3 雨水回収タンクの水位が低下した原因については、両タンク間を連結している配管の弁が完全に閉まりきっていなかった可能性があるが、現在、確認中であるとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
J 2、J 3 雨水回収タンク
(北西側から撮影)



(写真1-2)
雨水散水地点 (大熊町側)



(写真 2 - 1)
J 2 雨水回収タンクの払出弁
(払出弁は「全閉」)



(写真 2 - 2)
J 3 雨水回収タンクの払出弁
(払出弁は「全閉」)



(写真 3)
雨水散水地点 (大熊町側) の地表面
の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。